

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 Date of Application: 2003年 2月 27日

出願番号 Application Number: 特願 2003-051411

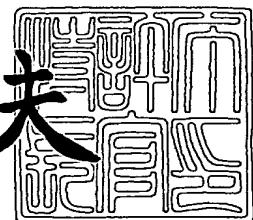
[ST. 10/C]: [JP 2003-051411]

出願人 Applicant(s): 本田技研工業株式会社

2004年 1月 5日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 H103052801

【提出日】 平成15年 2月27日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区南青山2-1-1 本田技研工業株式会
社内

【氏名】 田島 久嗣

【特許出願人】

【識別番号】 000005326

【氏名又は名称】 本田技研工業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100102864

【弁理士】

【氏名又は名称】 工藤 実

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 053213

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9808922

【プルーフの要否】 要

【書類名】明細書

【発明の名称】倉庫募集システム

【特許請求の範囲】

【請求項1】

物品の保管を行う倉庫をネットワーク上で募集する倉庫募集システムであって

前記ネットワークに接続された、サーバと、

前記ネットワークに接続され、前記ネットワークを介して前記サーバに接続する応募者端末と、

前記ネットワークに接続され、前記ネットワークを介して前記サーバに接続する募集者端末と

を具備し、

前記サーバは、前記募集の応募データの入力を要求する募集画面を提供し、前記要求に応じて入力された前記応募データを、前記募集者端末により設定された前記募集条件と比較して、前記募集条件を満たす応募データを決定し、前記募集者端末による出力要求に応じて、前記決定した応募データを、特定の出力形式で出力する

倉庫募集システム。

【請求項2】

請求項1に記載の倉庫募集システムにおいて、

前記サーバは、前記募集画面の一部に、前記応募データのうちの第1特定項目の入力のための領域を提示し、

前記要求に応じて入力された前記特定項目に対応するデータを取り込み、前記取り込んだデータを、前記出力する応募データの一部として出力する。

倉庫募集システム。

【請求項3】

請求項1または、請求項2に記載の倉庫募集システムにおいて、

前記サーバは、前記募集画面の一部に、前記応募データのうちの第2特定項目の入力のための領域を提示し、

前記要求に応じて入力された前記特定項目に対応するデータを取り込み、前記取り込んだデータを、前記出力する応募データと区別して出力する。
倉庫募集システム。

【請求項 4】

請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の倉庫募集システムにおいて、前記サーバは、前記決定に応答して、前記募集者端末に応募通知を送信する倉庫募集システム。

【請求項 5】

請求項 1 から請求項 4 のいずれか 1 項に記載の倉庫募集システムにおいて、前記出力形式は、前記応募データの所定の項目について、応募者ごとに並べ、前記並べられた応募データを 1 画面で表示する表示形式である、倉庫募集システム。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 5 のいずれか 1 項に記載の倉庫募集システムにおいて前記募集条件に、物流業務アウトソーシング提供の可否を含む倉庫募集システム。

【請求項 7】

物品の保管を行う倉庫をネットワーク上で募集する倉庫募集システムを実行する方法をコンピュータにより実行するためのプログラムであって、前記募集の応募データの入力を要求する募集画面を提供するステップと、前記要求に応じて入力された前記応募データを、前記募集者端末により設定された前記募集条件と比較するステップと、前記募集条件を満たす応募データを決定するステップと、前記募集者端末による出力要求に応じて、前記決定した応募データを、特定の出力形式で出力するステップと、を具備する方法をコンピュータにより実行するためのプログラム。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のプログラムにおいて、前記募集画面の一部に、前記応募データのうちの第 1 特定項目の入力のための

領域を提示するステップと、

前記要求に応じて入力された前記特定項目に対応するデータを取り込むステップと、

前記取り込んだデータを、前記出力する応募データの一部として出力するステップと、

を具備する方法をコンピュータにより実行するためのプログラム。

【請求項9】

請求項7または請求項8のいずれか1項に記載のプログラムにおいて、

前記募集画面の一部に、前記応募データのうちの第2特定項目の入力のための領域を提示するステップと、

前記要求に応じて入力された前記特定項目に対応するデータを取り込むステップと、

前記取り込んだデータを、前記出力する応募データと区別して出力するステップと、

を具備する方法をコンピュータにより実行するためのプログラム。

【請求項10】

請求項7から請求項9のいずれか1項に記載のプログラムにおいて、

前記決定に応答して、前記募集者端末に応募通知を送信するステップと、
を具備する方法をコンピュータにより実行するためのプログラム。

【請求項11】

請求項7から請求項10のいずれか1項に記載のプログラムにおいて、

前記応募データの所定の項目について、応募者ごとに並べるステップと、

前記並べられた応募データを1画面で表示するステップと、

を具備する方法をコンピュータにより実行するためのプログラム。

【請求項12】

請求項7から請求項11のいずれか1項に記載のプログラムにおいて

物流業務アウトソーシング提供の可否を問うステップ

を具備する方法をコンピュータにより実行するためのプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】**【発明の属する技術分野】**

本発明は物品の保管をする倉庫を募集する募集システム、および、募集方法に関する。

【0002】**【従来の技術】**

従来、物品の保管をする倉庫を募集する場合、倉庫業者各社毎に見積書を提出させ、募集条件に近い見積もりを提示する業者を数社選別し、選別した各社毎にプレゼンテーションをしてもらい、最終的な業者を決定していた。

【0003】

しかしながら、このような募集形態では、それぞれの倉庫業者毎に提出する見積書のフォーマットが異なっていたりする場合が多く、要求する記載がどこに書いてあるのかを判断する時間が過大にかかってしまっていた。

【0004】

また、プレゼンテーションなどの際にも、各応募業者が自分の主張したいポイントを強調するあまりに、肝心な部分の情報伝達があいまいになってしまい、募集業者、応募業者、どちらにとっても不利益が発生してしまうという問題が発生していた。

【0005】

このような問題を解決する手段として、所定の条件を予め設定し、ネットワークを介して公募を行い、応募してきたものの中から、設定した条件の全てに適合するもの、又は、一番多くの条件に適合するものを一つ選び出すシステムが知られていた。（例えば、特許文献1参照。）。

【0006】

しかしながら、物品を保管する倉庫を募集する場合において、提示する募集条件は広範囲にわたっており、その全ての条件に適合するものを選び出すのは大変に難しく、したがって、従来の技術で、倉庫をネットワークを介して公募することは不可能であった。

【0007】

【特許文献 1】

特開 2002-366611号公報

【0008】**【発明が解決しようとする課題】**

本発明が解決しようとする課題は、物品を保管する倉庫を、ネットワークを介して募集するシステムを提供することである。

【0009】**【課題を解決するための手段】**

以下に、【発明の実施の形態】で使用される番号を用いて、課題を解決するための手段を説明する。これらの番号は、【特許請求の範囲】の記載と【発明の実施の形態】との対応関係を明らかにするために付加されたものである。ただし、それらの番号を、【特許請求の範囲】に記載されている発明の技術的範囲の解釈に用いてはならない。

【0010】

ネットワーク（4）に接続された、サーバ（1）と、前記ネットワーク（4）に接続され、前記ネットワーク（4）を介して前記サーバに接続する応募者端末（3）と、前記ネットワーク（4）に接続され、前記ネットワーク（4）を介して前記サーバに接続する募集者端末とを具備し、前記サーバ（1）は、前記ネットワーク（4）上において、前記募集の応募データの入力を要求する募集画面を提供し、前記要求に応じて入力された前記応募データを、前記募集者端末（2）により設定された前記募集条件と比較して、前記募集条件を満たす応募データを決定し、前記募集者端末（2）による出力要求に応じて、前記決定した応募データを、特定の出力形式で出力する。

【0011】

これにより、応募された倉庫を、機械的に判別することが可能となり、要求を満たさない応募を自動的に判別でき、これまで費やされていた商談時間や、労力、費用が、大幅に削減できる効果があり、また、出力形式を特定することで、比較検討が容易な出力形式を選択することが可能となり、やはり、これまで費やされていた時間や、労力が大幅に削減できる効果がある。

【0012】

サーバ（1）は、前記募集画面の一部に、前記応募データのうちの特定項目の入力のための領域を提示し、前記要求に応じて入力された前記特定項目に対応するデータを取り込み、前記取り込んだデータを、前記出力する応募データの一部として出力する。

【0013】

これにより、画像を用いた入力画面を提供することが可能となり、入力時の入力ミスを防止する効果を発生させることができる。

【0014】

サーバ（1）は、前記募集画面の一部に、前記応募データのうちの特定項目の入力のための領域を提示し、前記要求に応じて入力された前記特定項目に対応するデータを取り込み、前記取り込んだデータを、前記出力する応募データと区別して出力する。

【0015】

これにより、特定の入力データを画像データで入力することができ、数値データや文字のみでは把握できなかった、建物の外観に関する情報や、候補地周辺の立地環境に関する情報などを、入力された画像データを参照することで確認できるという効果がある。

【0016】

サーバ（1）は、前記決定に応答して、前記募集者端末（2）に応募通知を送信する。これにより、前記募集に対する応募が行われたかどうかを、自動的に把握することが可能となり、定期的に応募状況を確認する必要がなくなり、時間や、労力を大幅に削減できる効果がある。

【0017】

前記出力形式は、前記応募データの所定の項目について、応募者ごとに並べ、前記並べられた応募データを1画面で表示する。

【0018】

これにより、応募データを一覧表形式で出力することが可能になり、より比較検討が容易な出力を得ることができ、応募された倉庫を選び出す手間や時間を大

幅に削減する効果がある。

【0019】

前記募集条件に、物流業務アウトソーシング提供の可否を問う条件を加える。

【0020】

これにより、倉庫の募集とは別に物流業務を行う委託業者を募集する必要がなくなり、これまで費やされていた商談時間や、労力、費用が、大幅に削減できる効果がある。

【0021】

【発明の実施の形態】

(実施例の構成)

図1、図2、図6、図7、図8を参照に、本発明の実施例の構成を以下に説明する。

【0022】

図1を参照すると、本実施例は、サーバ1、募集者端末2、ネットワーク4、応募者端末3、携帯端末5で構成されていることがわかる。

【0023】

サーバ1は、ネットワーク4に接続可能なパーソナルコンピュータなどの情報端末であり、図2を参照すると、サーバ1は、処理部とデータベースを有する事がわかる。

【0024】

データベースは、倉庫データ（図7）と、基準データ（図8）とを格納し、倉庫データは応募者がネットワーク4を介して応募する時に入力する応募データを、地理データ、敷地データ、保管庫データなどに分類し、応募者毎に記憶する。

【0025】

図7を参照に、倉庫データにデータとして記憶される情報は、応募者氏名、応募者住所など、複数の応募者の各々を識別するために必要な識別情報と、実際に募集の対象となる倉庫の倉庫情報である。

【0026】

倉庫情報は、実際に物品の保管を行う保管庫に関する保管庫情報以外に、倉庫

を中心とした周辺地域の交通網に関する交通情報と、倉庫を中心とした周辺環境に関する周辺環境情報と、倉庫敷地の敷地面積や敷地内で搬送車両が通る搬入路などに関する敷地情報と、倉庫敷地の倉庫以外の建物に関する情報などを含む。

【0027】

図8を参照に、基準データに記憶される情報は、応募者が入力した応募データが、募集者の要求する条件を満たすかどうかの判定の基準となる判定値と、応募された倉庫を選ぶ場合、優先順位の目安となる希望値である。

【0028】

判定値は、交通に関する距離や所要時間などの上限値を定め、敷地や保管庫などに関する面積や容積などの最低限必要な値を定め、基準データに記憶する

【0029】

判定値を設定することで要求する条件に適合しない応募を自動的に出力対象外とすることができます、また、募集者は、要求する条件そのものを公開することなく募集を行うことができる。

【0030】

判定値は、必ずしも設定する必要は無く、仮に、判定値をまったく設定しなかった場合、応募された応募データは全て出力される。

【0031】

希望値は、交通に関する希望条件や、敷地に関する希望条件などを設定する。

【0032】

希望値を設定することにより、敷地や保管庫などに関して、希望する敷地面積や保管容積よりも、大きい応募なのか、小さい応募なのかを出力時に一目で判断することができる。

【0033】

判定値と希望値は募集者が任意に設定の変更を行うことが可能であり、募集者はこの判定値と希望値を変更することで、募集の範囲の幅を持たせることができる。

【0034】

処理部は、倉庫データを比較検討可能な出力形式に変換し出力する出力処理と

、募集条件に基づいてH T M L ファイルの作成を行うW e b ページ作成処理と、基準データの判定値の範囲内に含まれる応募を、出力対象外と判定する判定処理と、応募が行われたことを通知する通知処理と、を行う。

【0035】

判定処理は、データベースに格納された応募者ごとの倉庫データを、基準データと比較し、基準データの判定値に定められた範囲に含まれるデータを入力した応募を、出力対象外と判定する。

【0036】

このとき、データベースは、出力対象外と判定された応募者のデータを、出力対象外応募データとして、通常の倉庫データと区別して記憶する。

【0037】

W e b ページ作成処理は、募集を行う候補地などの条件に基づいて、インターネット上に公開するW e b ページを自動的に作成する。

【0038】

図6に示されるように、出力処理は、入力された倉庫データを一覧表形式で出力表示するか、または、入力された倉庫データを基に、データ処理を行い、コンピュータの画面上に擬似倉庫を作成し、画像で出力するバーチャル形式で出力表示する。

【0039】

一覧表形式とバーチャル形式は相互に切り替えて表示することが可能であり、正確な数値で応募された倉庫を検討したいときなどは一覧表形式で表示を行い、視覚的にイメージをつかみたいときなどは、バーチャル形式に切り替えて使用する。

【0040】

募集者端末2は、サーバ1に接続可能なパーソナルコンピュータなどの情報端末であり、サーバ1内のデータベースにアクセスし、データを追加、削除、変更などを行う機能を有する。また、電子メールなどを使用した応募通知を受信する機能を有し、サーバが出力する倉庫データを表示する機能を有する。

【0041】

応募者端末3は、ネットワーク4に接続可能なパーソナルコンピュータなどの情報端末であり、ネットワーク4を介してサーバ1が提供する募集Webページを表示する機能と、募集Webページを介して応募データを入力する機能を有する。

【0042】

携帯端末5は、募集者端末2が利用できない場合、サーバ1が送信する応募通知を受信し、サーバ1が出力する倉庫データを表示する機能を有する。

【0043】

(実施例の動作)

図3、図4、図5、図6を参照に、本発明の実施例の動作を以下に説明する。

【0044】

倉庫募集者は、事業内容の変更などで、新たな倉庫が必要になった場合、倉庫を募集する候補地などの、倉庫の募集条件を決定する。

【0045】

図3のステップS300において、募集条件が決定したら、インターネット上に公開するWebページを作成し、作成したWebページをインターネットで公開し、募集を開始する。

【0046】

ステップS302において募集を行うWebページのURLは、募集者の管理するインターネット上のホームページでの公開や、関係刊行物等に掲載することで関係業者に知らせる。また、連絡先がわかっている関係業者には電子メールなどを使い直接通知を行い応募をしてもらう。

【0047】

ステップS304において公開されたURLを見たり、電子メール等による通知を受け取った業者は、Webページにアクセスし、自社の保有する倉庫のデータを応募データとして入力する。

【0048】

募集者が要求する大まかな入力項目は、募集Webページの最初のページに記載される。

【0049】

応募者は、募集Webページの最初のページを参照に、応募データを予め準備することが可能である。

【0050】

また、募集Webページで入力するデータは、建物サイズなど、画面上で数値で入力するものと、建物外観の画像データなど、コンピュータ上のデータファイルで入力するものとがあるが、募集者が要求する入力項目を、募集Webページの最初のページに記載することで、応募者の混乱を防ぐことができる。

【0051】

このように、応募データは全てWebページ上で入力することが可能であり、入力画面は、それぞれの項目に分けて構成されていて、1画面で1項目の入力をを行う。（図4、図5）

【0052】

ステップS306において、応募者は画面の案内に従い要求されるデータを入力する。4a、4b、4c、5a、5b、5cに示されるように、応募者は各項目の入力を終えると、次の画面に移り次の画面の案内に従い要求されるデータを入力する。

【0053】

画面上の応募データの入力において、募集者にとって必須のデータは、応募者が入力しなければ次の画面に移れないようになっており、これにより、必要な情報が欠落することを防止する。

【0054】

また、5a、5bに示されるように、建物サイズなどは、画面上のイラストを用いて入力を行うので、入力時における入力ミスを防止することができ、さらに、言語が異なる地域において募集を行う場合にも、言語の違いによる入力ミスを防ぐことができる（図5）。

【0055】

全ての入力が完了したら、入力されたデータは、サーバ1に送信される。

【0056】

ステップS308において、Webページから入力され、サーバ1に送信された応募データは、一旦、応募者ごとに倉庫データに記憶され、記憶された応募者ごとの倉庫データは、基準データの判定値の範囲内に含まれる応募かどうか、処理部で判断が行われる。

【0057】

基準データの判定値の範囲内に含まれる応募であった場合、この応募は出力対象外と判定され、出力は行われない（S310）。また、出力対象外と判定された倉庫データは、データベースの倉庫データ内で、出力対象外応募データとして、通常の倉庫データと区別して記憶される。

【0058】

ステップS314において、倉庫データが処理部での判定が行われた結果、出力対象外と判定されなかった場合、処理部は募集者端末2に、新規応募がある旨の通知を行う。

【0059】

ステップS316において、通知を受け取った募集者端末2はサーバ1にアクセスし、サーバ1に出力命令を送信する。サーバ1は募集者端末2から送信された出力命令に基づいて、倉庫データを表示可能な形式に変更して出力する。

【0060】

出力する形式は一覧表示形式とバーチャル表示形式があり、両形式は相互に切り替えが可能である（図6）。

【0061】

一覧形式表示は、出力対象外応募データ以外の倉庫データを、応募者ごとに比較可能な一覧表形式で出力する。

【0062】

バーチャル形式表示は、出力対象外応募データ以外の倉庫データを用いて、コンピュータの画面上に倉庫画像を作成するデータ処理を行い、画像形式で出力表示する。

【0063】

募集者は、応募された倉庫を表示形式を切り替えながら、要求する条件を満た

す、又は、もっとも要求する条件に近い応募を、労無くして選ぶことができる。

【0064】

また、もしも、要求する条件を満たす応募が出力表示されなかった場合は、更に募集を募るか、又は、基準データの判定値などを変更する。

【0065】

判定値の変更が行われた場合は、処理部はデータベース内の出力対象外応募データを検索し、一度出力対象外と判定された倉庫データに対して、再度判定処理を行い、新たに出力対象になった倉庫データが存在した場合、募集者端末2に通知を行う。

【0066】

この作業を繰り返すことにより、無駄な再検討の時間を省略できる。

【0067】

【発明の効果】

本発明の効果は、物品を保管する倉庫をネットワーク上で募集することにより、応募された倉庫を、機械的に判別することが可能となり、要求を満たさない応募を自動的に判別でき、これまで費やされていた商談時間や、労力、費用が、大幅に削減できる効果がある。

【0068】

また、出力形式を統一化することで、比較検討が容易になり、やはり、これまで費やされていた時間や、労力が大幅に削減できる効果がある。

【0069】

また、入力形式に画像を用いた入力画面を提供することで、入力時の入力ミスを防止する効果がある。

【0070】

また、特定の入力データを画像データで入力することにより、数値データや、文字のみでは、把握できなかった、建物の外観に関する情報や、候補地周辺の立地環境に関する情報などが確認できるという効果がある。

【0071】

また、募集条件に、物流業務を行う委託業者を提供する手段を持っているかど

うかを加えるので、倉庫の募集とは別に物流業務を行う委託業者を募集する必要がなくなり、これまで費やされていた商談時間や、労力、費用が、大幅に削減できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

図1は、本発明の倉庫募集システムの構成を示す構成図である。

【図 2】

図2は、本発明の倉庫募集システムにおける、サーバと募集者端末とネットワークとの構成を詳細に示した図である。

【図 3】

図3は、本発明の倉庫募集システムにおける、倉庫募集開始から、応募された倉庫の検討開始までの流れを示した図である。

【図 4】

(a) 図4の(a)は、本発明の倉庫募集システムにおける、第1の募集画面の一例を示す図である。

(b) 図4の(b)は、本発明の倉庫募集システムにおける、第2の募集画面の一例を示す図である。

(c) 図4の(c)は、本発明の倉庫募集システムにおける、第3の募集画面の一例を示す図である。

【図 5】

(a) 図5の(a)は、本発明の倉庫募集システムにおける、第4の募集画面の一例を示す図である。

(b) 図5の(b)は、本発明の倉庫募集システムにおける、第5の募集画面の一例を示す図である。

(c) 図5の(c)は、本発明の倉庫募集システムにおける、第6の募集画面の一例を示す図である。

【図 6】

(a) 図6の(a)は、本発明の倉庫募集システムにおける、出力画面の一例を示す図である。

(b) 図6の(b)は、本発明の倉庫募集システムにおける、出力画面の一例を示す図である。

【図7】

図7は、サーバのデータベース内に格納された、倉庫データのデータテーブルの一例を示す図である。

【図8】

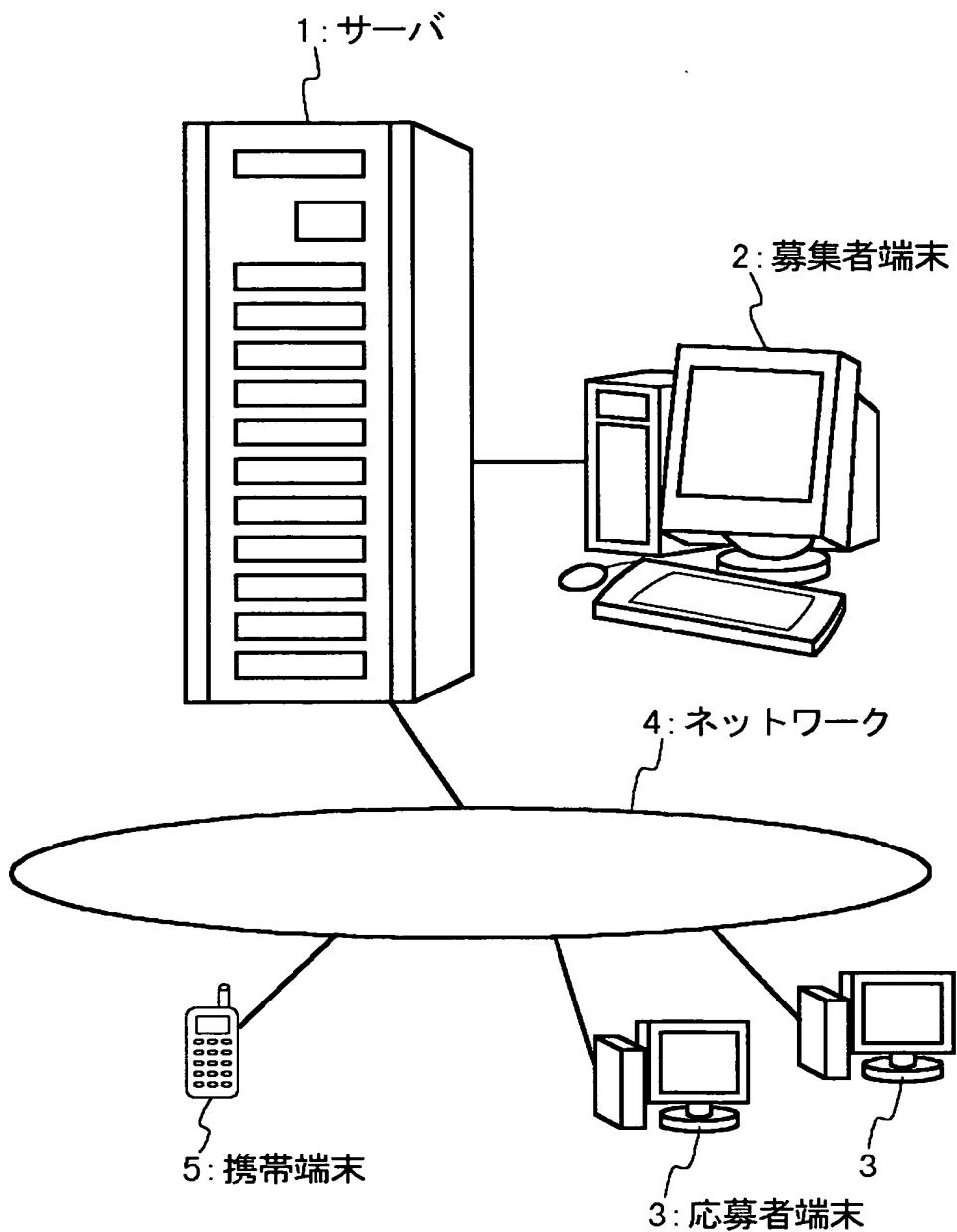
図8は、サーバのデータベース内に格納された、基準データのデータテーブルの一例を示す図である。

【符号の説明】

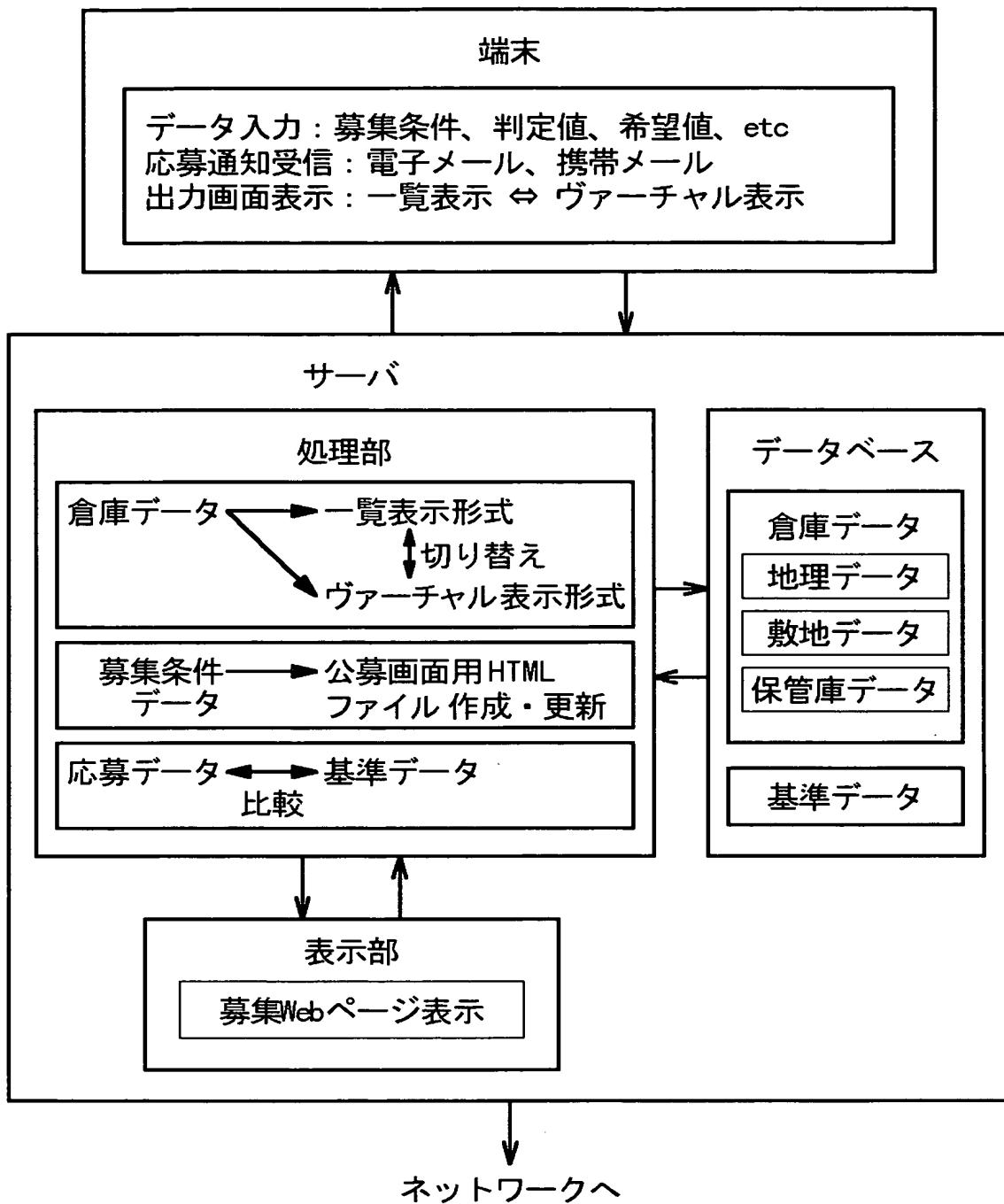
- 1：サーバ
- 2：募集者端末
- 3：応募者端末
- 4：ネットワーク
- 5：携帯端末

【書類名】 図面

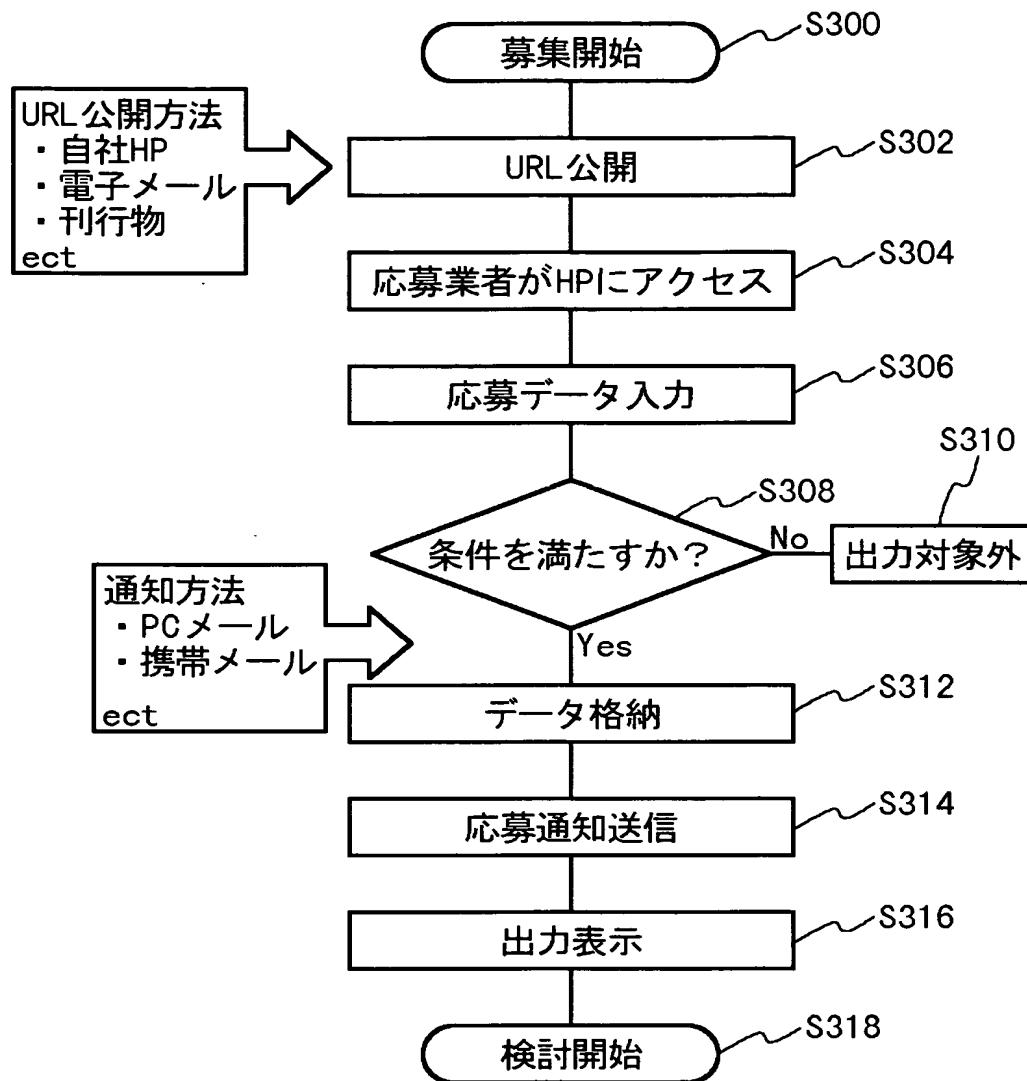
【図1】



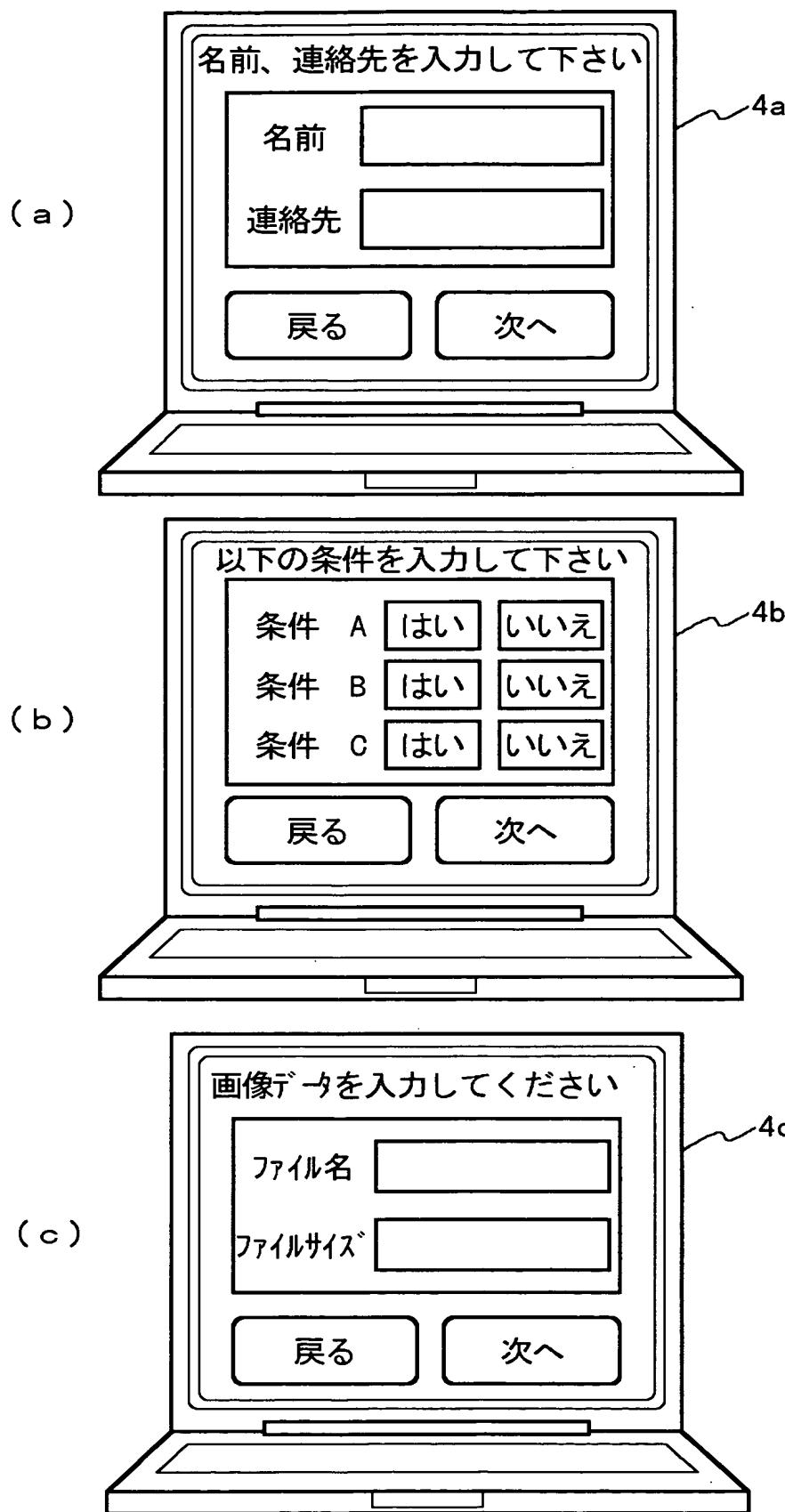
【図 2】



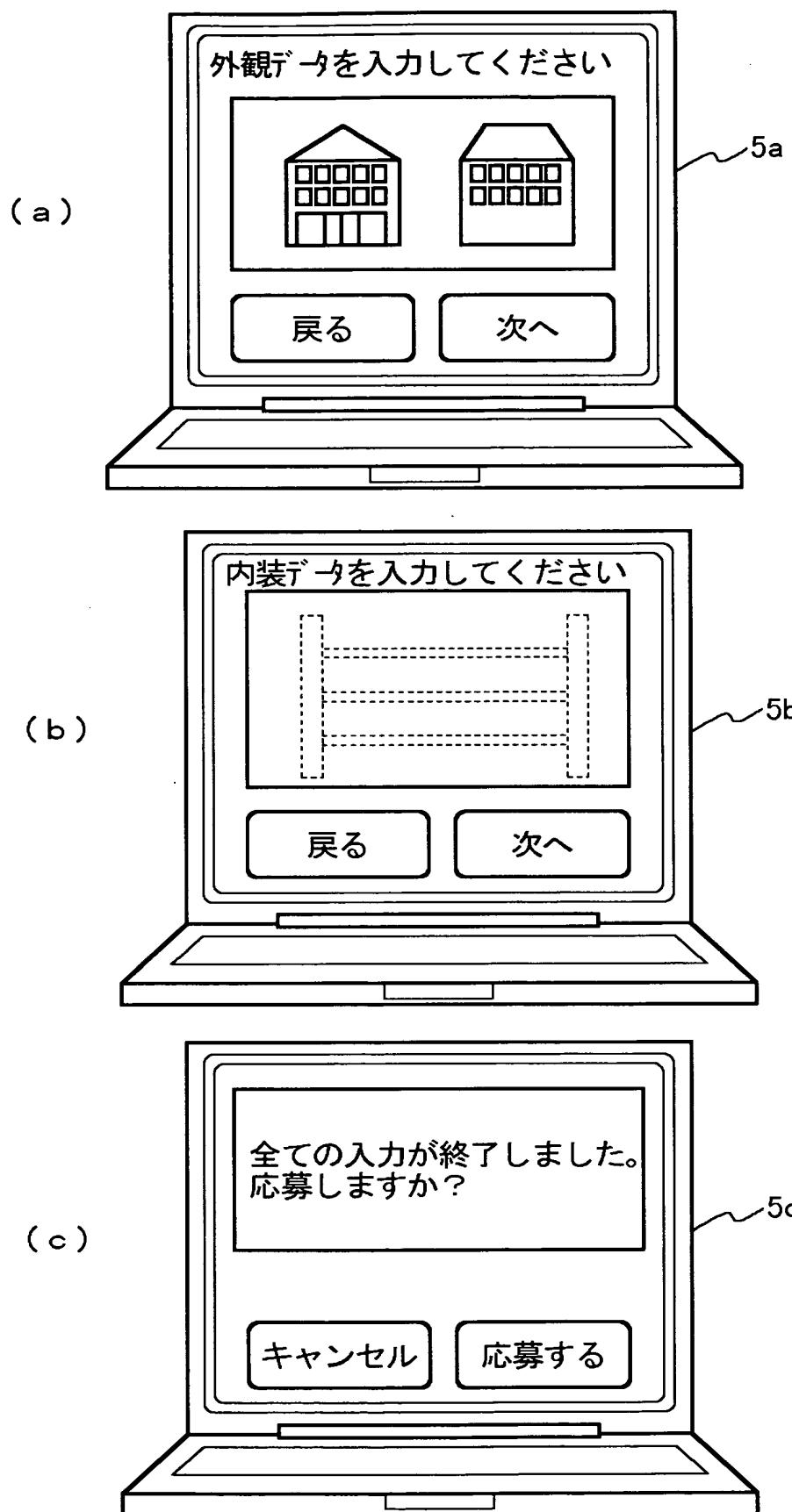
【図 3】



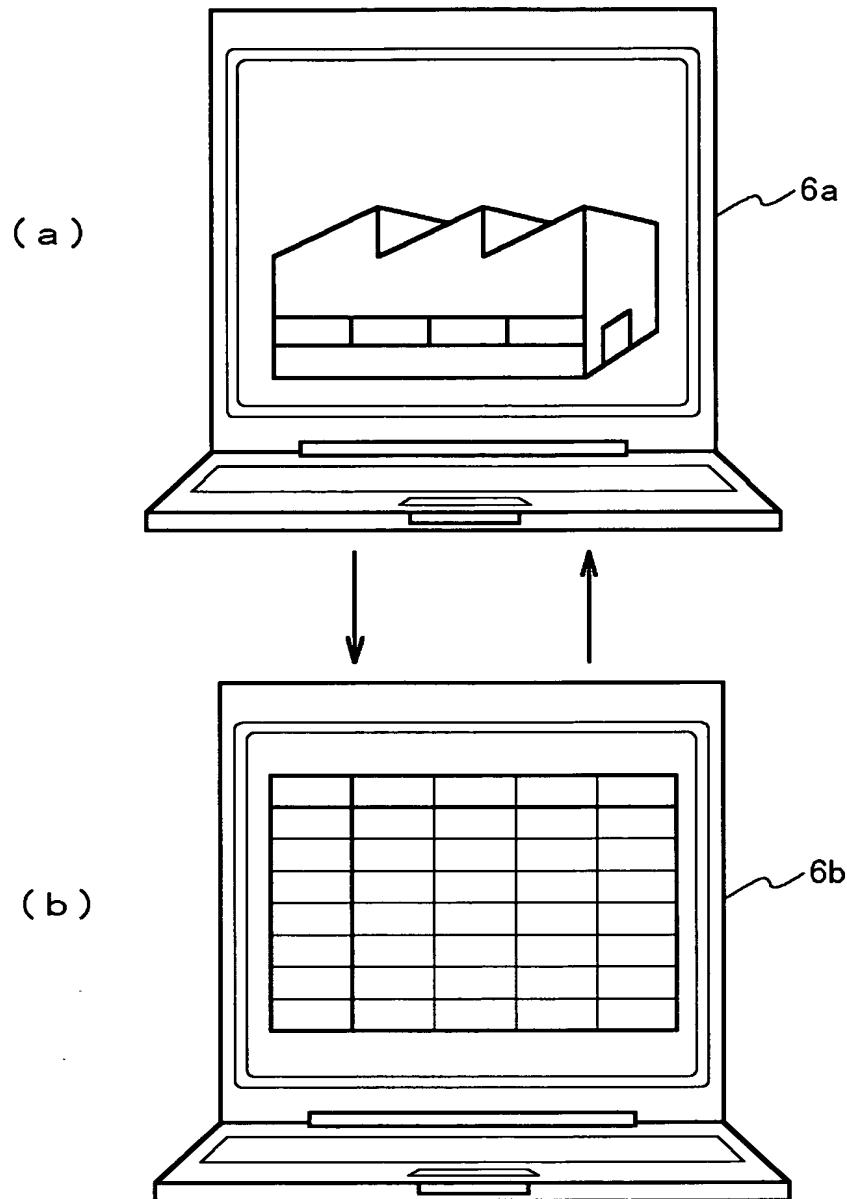
【図 4】



【図5】



【図6】



【図7】

倉庫データ		応募者A	応募者B	応募者C	…
応募者住所		甲市A町	乙市B町	丙市C町	
倉庫所在地		甲市A町	甲市A町	甲市D町	
地理	移動距離 平均所要時間	(km) (h)	(km) (h)	(km) (h)	
	空港から	6 0.5	10 0.8	12 1	
	港から	(km) (h)	(km) (h)	(km) (h)	
	甲市から	10 0.8	6 0.5	8 0.7	
	甲市から	(km) (h)	(km) (h)	(km) (h)	
	乙市から	14 1	15 1	10 0.7	
	乙市から	(km) (h)	(km) (h)	(km) (h)	
	乙市から	9 0.8	10 1	10 1	
敷地	敷地サイズ	南北×東西 (m) (m ²)	15000×120 1800000	10000×200 2000000	12000×150 1800000
保管庫	倉庫サイズ	縦×横 (m)	8000×45	5000×50	6000×45
	建物の高さ	梁下 (m)	8	10	11
	柱間隔	(m)	10	10	12
	許容荷重	(t/m ²)	3	2.8	3.2

【図8】

基準データ		判定値		希望値		...
地理	移動距離 平均所要時間	空港から (km) (h)	25以上 2以上	5以下 0.5以下		
	港から	(km) (h)	25以上 2以上	5以下 0.5以下		
	甲市から	(km) (h)	30以上 2以上	8以下 1以下		
	乙市から	(km) (h)	30以上 2以上	10以下 0.7以下		
敷地	敷地サイズ	南北×東西 (m) (m ²)	8000×100以下 800000以下	15000×250以上 3750000以上		
保管庫	倉庫サイズ	縦×横 (m)	4000×30以下	10000×80以上		
	建物の高さ	梁下 (m)	6以下			
	柱間隔	(m)	8以下			
	許容荷重	(t/m ²)	2以下			
	・	・	・			

【書類名】要約書

【要約】

【課題】

本発明が解決しようとする課題は、物品を保管する倉庫を、ネットワークを介して募集するシステムを提供することである。

【解決手段】

ネットワークに接続された、サーバと、前記ネットワークに接続され、前記ネットワークを介して前記サーバに接続する応募者端末と、前記ネットワークに接続され、前記ネットワークを介して前記サーバに接続する募集者端末とを具備し、前記サーバは、前記ネットワーク上において、前記募集の応募データの入力を要求する募集画面を提供し、前記要求に応じて入力された前記応募データを、前記募集者端末により設定された前記募集条件と比較して、前記募集条件を満たす応募データを決定し、前記募集者端末による出力要求に応じて、前記決定した応募データを、特定の出力形式で出力する。

【選択図】図1

特願2003-051411

出願人履歴情報

識別番号 [000005326]

1. 変更年月日 1990年 9月 6日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都港区南青山二丁目1番1号
氏 名 本田技研工業株式会社